

時代背景と社会潮流

□安全・安心の追求

近年、自然災害や異常気象、感染症など地球規模のリスクが高まる中、それらのリスクへの備えを万全にし、火災や事故、犯罪、人権問題、社会インフラの老朽化など日常生活に潜むリスクを未然に防止することにより、安全・安心な社会の実現に向けた基盤を強固なものにしなければなりません。

その基盤の上に、子育てや教育、医療、福祉、健康づくりなどにおける、きめ細かな安全・安心を積み重ねていくとともに、空き家や耕作放棄地、地域コミュニティの衰退など人口減少に伴う安全・安心の揺らぎ食い止めることで、充実した安全・安心を実感ながら、誰もが快適で豊かな暮らしを享受できることが望まれています。

イラストを掲載予定

□技術革新とデジタル化

スマートフォンに代表されるICT(情報通信技術)は、社会のデジタル化とスマート化を加速化させ、今後、ますます便利な社会へ移行すると予測されています。

新たな技術の発展・登場が、情報発信と情報共有を多様化・高速化させ、産業構造さえも変えていく可能性があります。また、感染症の流行下において、社会のデジタル化とスマート化の重要性がより一層高まりました。

これらの技術を上手に使いこなし、時代を切り拓く人材の育成はもちろん、誰一人として取り残さない、人にやさしいデジタル環境の整備が求められています。

イラストを掲載予定

□グローバル化と価値観の尊重

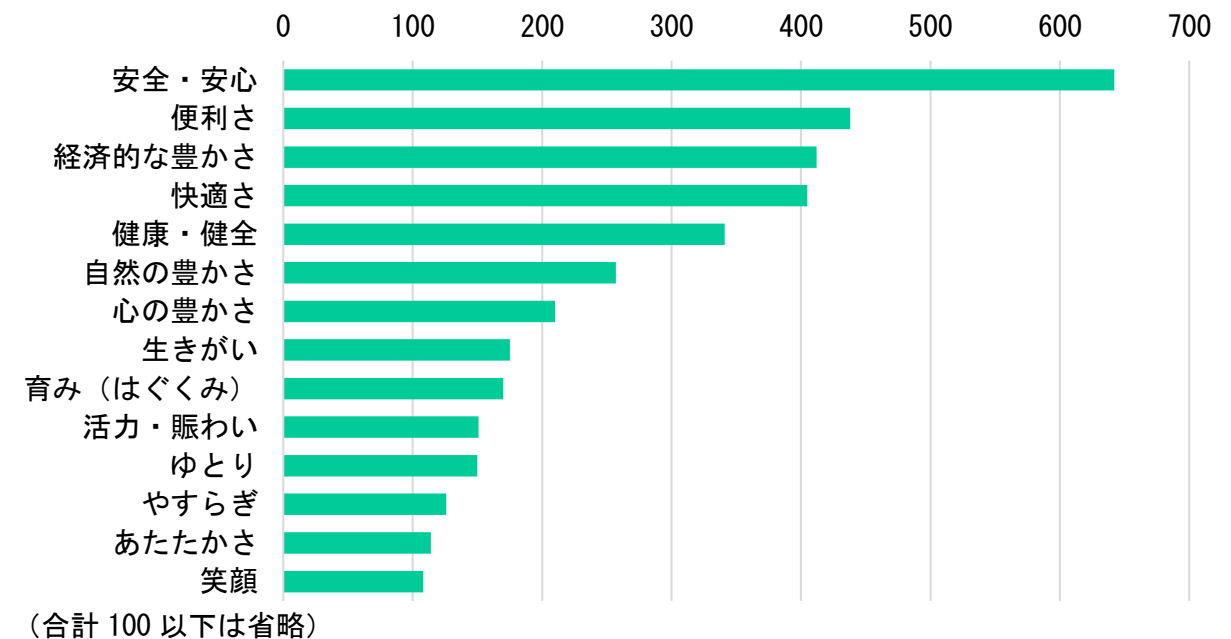
東京オリンピック・パラリンピックの基本的な考え方として「多様性と調和」が掲げられたように、グローバル化の進展に伴って、多様な文化や価値観に触れ、多様性を尊重することに対する重要性が増しています。

あわせて、感染症がグローバル社会に打撃を与え、世界的に環境問題への意識が高まる中、持続可能な世界を目指し、国際社会における共通の価値観であるSDGs(持続可能な開発目標)に取り組むことが必要となっています。

イラストを掲載予定

市民が理想とするまちのキーワード

2019年11月に実施した市民5,500人を対象としたアンケートにおいて、「2030年に目指すべきまちの将来像を表すキーワード(全体選択肢40個、複数回答)」について調査したところ、次の結果となりました。(回答者数…1,730人)



21世紀のまちづくりのキーワード 「ア・イ・ウ・エ・オ」

「ア」…アメニティ(快適性)、アイデンティティ(個性)、AI(人工知能)

「イ」…イノベーション(技術革新)、インフォメーション(情報)、
インターナショナル(国際的)、インバウンド(訪日観光)、
IoT(モノのインターネット)

「ウ」…ウェルネス(健康)、ウェルフェア(福祉)

「エ」…エコロジー(自然環境保全)、エデュケーション(教育)

「オ」…オリジナリティ(独創性)、オンリーワン(唯一性)

総合ビジョンの策定にあたって

1 小野市総合ビジョンの策定趣旨と目的

これまでの小野市は、『夢プラン2020おの総合計画』において、「人いきいき まちわくわく ハートフルシティおの ～セカンド・ステージ～」を基本理念とし、まちづくり方針として“誇りと信頼、希望に包まれた『愛着』の創造”を掲げ、その実現に向けてまちづくりを進めてきました。

この間、人口減少・少子高齢化社会の進行、情報通信技術の発展、グローバル化の進展などの社会の変化が、本市を取り巻く環境に大きな影響を与えており、今後の自治体経営においては、「行政も経営」と捉えた、持続可能なまちづくりを進めることが、より一層重要となります。

また、平成 23(2011)年5月の地方自治法改正に伴い、総合計画(基本構想)の策定義務がなくなりました。小野市では、各基本分野における個別計画の方向性を整理することの必要性や民間企業においても中長期の経営計画を掲げることが一般的であることに鑑み、小野市らしいまちづくりを展開するための計画を策定することとしました。これはまさに、地方自治「自己実現のための自己決定、自己責任」の発想において、生き残りではなく、勝ち残りを目指すためのチャレンジに他なりません。

計画の名称については、『夢プラン2020おの総合計画(以下、「旧総合計画」と言います。)]から『小野市総合ビジョン ー夢プラン2030ー(以下、「総合ビジョン」と言います。)]に改め、2030 年に向け、市民とまちの将来像(ビジョン)及びあるべきまちの姿を共有するために、本計画を策定します。

2 総合ビジョンの計画期間等

総合ビジョンは 2030 年を目標年次とし、令和4(2022)年度から令和 12(2030)年度までの9年間を計画期間とします。

なお、大きなまちづくりの方向性の転換が必要となった場合などは、計画期間内であったとしても、必要に応じて、全体的な見直しを行います。

また、平成 27(2015)年に策定した『小野市総合戦略(以下、「総合戦略」と言います。)]を、総合ビジョンを実行するための計画として改訂し、第2期分としての計画期間を令和4(2022)年度から令和7(2025)年度までと定め、総合ビジョンの中間年で改訂を行います。

区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
総合ビジョン	9 年間								
総合戦略	4 年間				5 年間				

3 総合ビジョンの構成

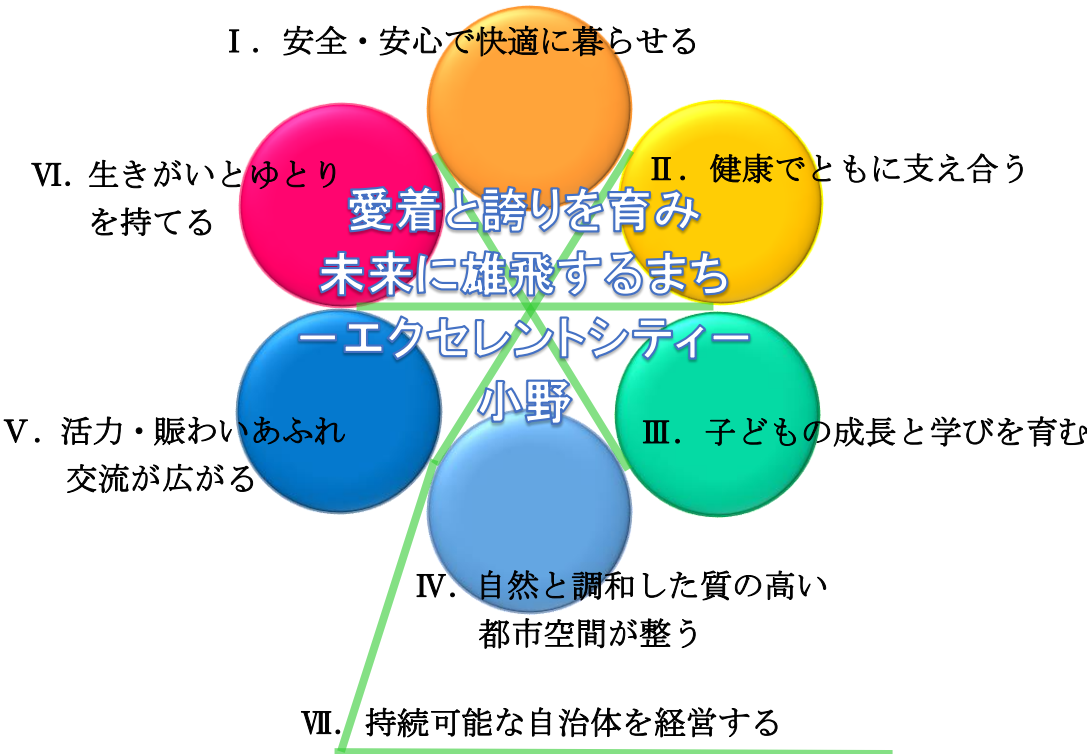
まちづくりの総合的かつ包括的な計画である総合ビジョンは、これまでまちづくりの基本構想を活かしつつ、時代背景や社会潮流、市民が理想とするまちのイメージなどを踏まえ、まちづくりにおける基本理念、将来像、基本方針等を定めます。

◇まちづくりの基本理念

人いきいき まちわくわく
ハートフルシティおの
ーNEXT STAGEー

◇2030年の将来像及び基本方針

将来像 ーエクセレントシティーー
愛着と誇りを育み 未来に雄飛するまち 小野



小野市の行政経営に基づくまちづくりの体系



体系図

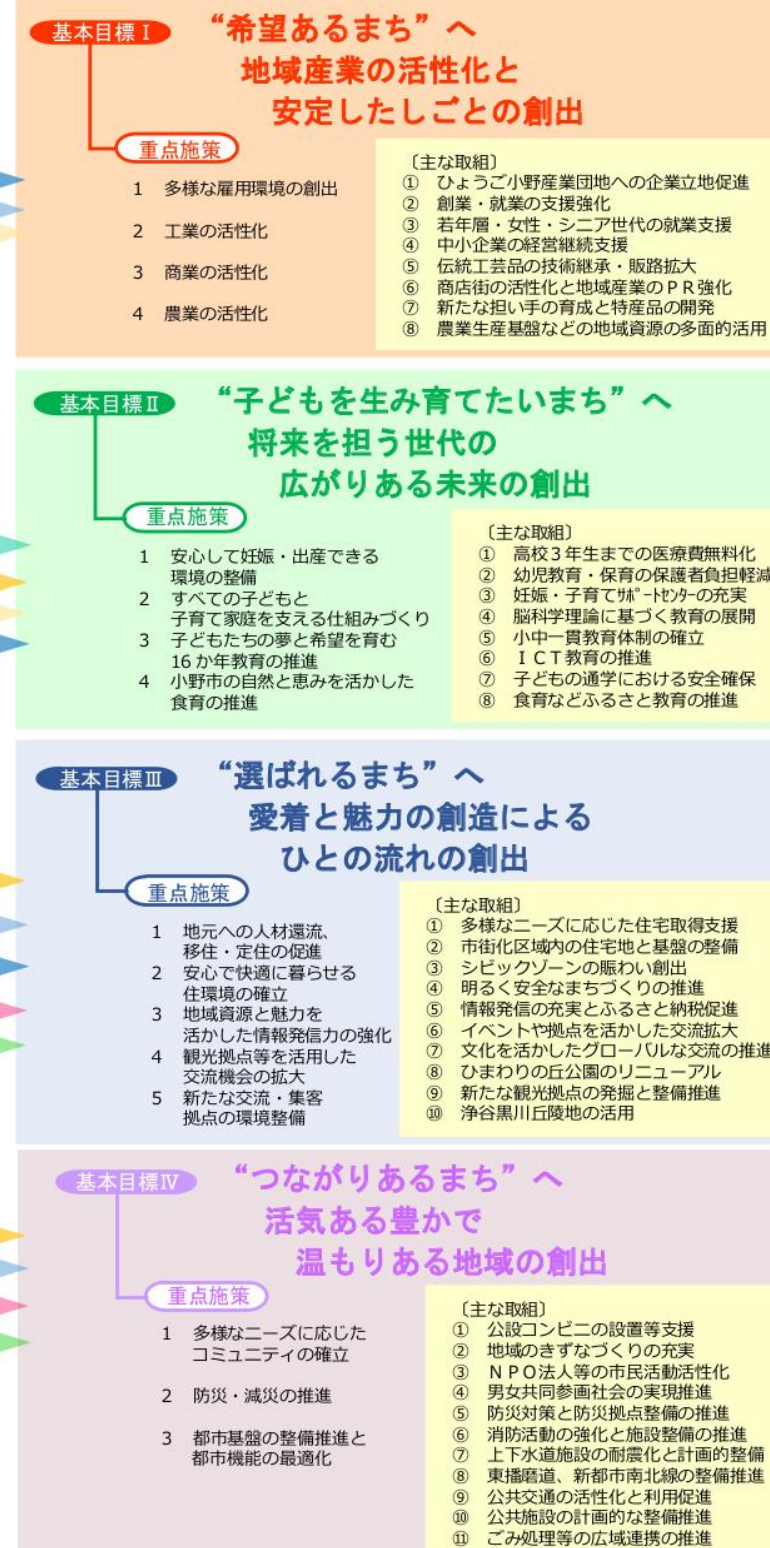
総合ビジョン（9年間）：将来展望（将来像、基本方針、基本分野ごとのあるべき姿）を定めます。
総合戦略（4・5年間）：基本分野を展開し、基本目標と重点施策を定めます。

将来像 エクセレントシティー 愛着と誇りを育み 未来に雄飛するまち 小野

総合ビジョン（2030年にあるべき姿）



総合戦略（2022～2025 年の間の中期計画）



I. 安全・安心で快適に暮らせる



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 1 防災体制の強化

- 自助・共助・公助が連携し、南海トラフ大地震や山崎断層帯による地震、異常気象による水害等を想定したハード・ソフト両面の防災体制が充実・確立されている。
- 地域の中で防災リーダーが育ち、地域内の防災力向上を図るとともに、災害時のリスクと避難行動が周知徹底されている。
- 誰もがタイムリーに防災情報を入手することができ、災害時に配慮すべき方への支援が充実している。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち

分野 2 消防・救急体制の充実

- 地域を挙げた消防力の強化と緊急時の広域的な応援・連携体制の構築を推進し、火災や事故、災害等から市民の生命と財産が守られている。
- 訓練や情報発信により火災予防の徹底が進み、防火意識が高まることで、日常生活や行事、催事等のあらゆる場面において防火対策が図られている。
- 医療機関との連携強化や救急・救助隊員の資質向上、市民の人命救助の技術向上、資機材等の充実等により、人口構造の変化にも対応した救急救助体制が構築されている。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち

分野 3 交通安全・防犯対策の推進

- 多様な主体が連携し、交通安全と防犯における取組強化と情報の共有化を図ることで、事故や犯罪が未然に防止されている。
- 防犯灯や街路灯を適正に配置した明るいまちが整備されるとともに、ICTを活用した事故防止や防犯対策が推進され、体感治安が更に向上している。
- 車・自転車の運転者や歩行者等の交通安全意識が高まり、交通ルール・マナーの遵守が徹底され、安全・安心な交通環境が整備されている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

分野 4 人権尊重・男女共同参画の推進

- 「いじめ」をあらゆる人権侵害の根源と捉え、虐待やDV、ハラスメント行為、誹謗中傷などを絶対に許さない社会を市民全員で築き、それらを防止している。
- あらゆる分野の多様な場面で、男女共同参画の視点に立った意思決定の手法・機会が確立されるとともに、一人ひとりが尊重される社会が形成されている。
- 「いじめ」をはじめ様々な生きづらさに対する相談・支援体制が強化され、関係機関による相互の連携や啓発、教育などで、それらの解消が図られている。

◆戦略の主な展開先…子どもを生み育てたいまち、豊かな人材を育むまち

分野 5 環境衛生対策の充実

- 大気・水・土壌などの環境を保全し、騒音・振動・悪臭などを抑制することで、誰もが安全・安心を実感できる生活環境が保たれている。
- 環境負荷を低減するため、地域全体で、ごみの減量化とリサイクルを推進するとともに、不法投棄を防止するまちづくりが広がっている。
- 地域社会を挙げて感染症対策が徹底されるとともに、適切な管理と指導により、感染症と疾病に対する予防意識の高揚が図られている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち、挑戦し進化するまち

分野 6 上下水道の充実

- 人口構造や産業立地、気候変動、災害などに対応し、経営視点に立った、上下水道施設の効率的な管理と計画的な整備が推進されている。
- 安全で安心なおいしい水を持続的かつ安定的に供給する上水道ネットワークが構築され、より高度・高品質なサービスが展開されている。
- トイレの水洗化と環境に配慮した下水処理を推進するとともに、市街地において迅速な雨水処理ができる施設整備が推進されている。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち

分野 7 消費生活の充実

- 消費者問題の未然防止策と支援体制が構築され、誰もが安全・安心な消費生活を送ることができ、環境に配慮したかき消費行動が推進されている。
- オンラインやキャッシュレスなど便利な消費環境が浸透し、販売・決済手法の多様化に対応できるよう、消費者教育を通じた、消費者の育成・啓発が図られている。
- 消費者を保護する相談・救済の体制が強化されるとともに、消費生活のグローバル化の進展への対応が充実している。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち、挑戦し進化するまち

Ⅱ. 健康でともに支え合う



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 8 医療体制の充実

- 医師会など地域の医療機関における機能分担と連携により地域医療ネットワークが充実し、人口構造の変化にも対応できる医療体制が構築されている。
- 先進技術を活用した医療提供体制が確立されるとともに、患者やその家族が快適に医療・健康サービスを受ける環境が整っている。
- 北播磨総合医療センターの安定した経営基盤のもと、質の高い医療が提供され、高い技術と誇りを持った医療人材の育成が展開されている。

◆戦略の主な展開先…子どもを生み育てたいまち、豊かな人材を育むまち

分野 10 高齢者支援の充実

- 地域における活動・活躍の場が整備されることで、いつまでも生きがいと役割を持ち、健康意識の高い高齢者が増え、互いに支え合う体制が確立している。
- 高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、日常生活の移動・買い物・住まいなどの環境が、すべての人に優しく快適なものとなっている。
- ICTの活用などにより、質の高い介護サービスが提供され、支える側の負担も技術革新や雇用対策により低減されている。

◆戦略の主な展開先…希望あるまち、豊かな人材を育むまち

分野 12 地域包括支援の充実

- 高齢者をはじめ誰もが住み慣れた家庭・地域で、安全・安心に暮れ続けられるよう、住まい・医療・介護・予防等の包括的なサービスが提供できる体制が構築されている。
- 認知機能や身体機能の低下に対応するサービス・支援が充実するとともに、それらの症状を早期発見し、早期対応できる人材・技術が整っている。
- 見守り・相談・移動などを互いに支え合い・助け合う社会が形成され、地域コミュニティの中にも浸透していくことで、介護者の負担が軽減されている。

◆戦略の主な展開先…豊かな人材を育むまち

分野 14 生活支援体制の充実

- 経済的な困窮やひきこもり、ニート、孤独などの様々な生きづらさを抱えている人へのセーフティネットが充実し、地域社会全体の見守りと相まって、生活の安定・向上が図られている。
- 支援を要する世帯の状況を把握し、その状況に応じて自立に向けた就労や社会参加を促すことで、誰一人として取り残さない社会が形成されている。
- 複雑化・複合化する地域社会課題に対応するため、多様な主体が緊密に連携し、重層的・総合的な相談体制と包括的な支援策が構築されている。

◆戦略の主な展開先…豊かな人材を育むまち

分野 9 保険制度の健全運営

- 医療・介護を必要とする誰もが適切なサービスを受けられる体制が整うとともに、高齢化の進展にも対応し、医療・介護保険制度の保険料(税)とサービスの最適化が図られている。
- ICTやデータの活用により、健康意識の向上と健康管理を推進し、給付の適正化を図るとともに、多様な介護サービスを展開している。
- 高齢者、乳幼児、重度障がい者、母子家庭、父子家庭、遺児などの医療費に対する受給者負担の適正化が図られている。

◆戦略の主な展開先…豊かな人材を育むまち

分野 11 障がい者福祉の充実

- 障がい者を地域全体で支え、障がい者の自立と社会参加を支援する体制を構築することで、住み慣れた社会の一員としてともに生活できている。
- バリアフリー化とユニバーサルデザイン化を推進し、障がいの有無にかかわらず誰もが集い、生きがいとやすらぎを感じることができる場が創出されている。
- ICTなどを活用しつつ、障がいがあっても暮らしやすい環境と多様なサービスが整うことで、コミュニケーションや働き場の充実している。

◆戦略の主な展開先…豊かな人材を育むまち

分野 13 健康づくりの推進

- ライフステージに応じた心と身体の健康づくりを推進し、生涯現役でいきいきと暮らせる環境と支援体制が構築されることで、健康寿命の延伸が図られている。
- 食生活や生活習慣における健康意識が高まり、健診・検診などによる疾病予防が図られるとともに、先端技術を活用した健康管理の取組が推進されている。
- 保育・教育・保健・医療・福祉等の分野横断的な連携が強化され、健康教育による正しい知識とスポーツ・体操などの運動による健康増進が図られている。

◆戦略の主な展開先…子どもを生み育てたいまち、豊かな人材を育むまち

Ⅲ. 子どもの成長と学びを育む



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 15 子育て環境の充実

- 誰もが安心して子どもを生み育てられる環境を、家庭と地域社会全体で整え、すべての子どもの命・権利が守られる体制が構築されている。
- 結婚・妊娠・出産・子育てなどのライフイベントにおける、経済的負担と不安感の軽減が図られるとともに、質が高くきめ細かなサービスが展開されている。
- 質の高い幼児教育・保育が提供され、様々な子育てサービスの充実が図られるとともに、それらを支える側が働きやすい環境が整備されている。
- 少子化や核家族化、コミュニティの希薄化などに対応するため、子育て世帯が交流する機会・拠点が充実している。
- 子ども・子育て家庭が抱える経済的な問題や多様な家族形態に関する悩みについて、適正な給付と的確な相談体制により課題解決が図られ、子どもの貧困が防止されている。
- 仕事と育児の両立といったワーク・ライフ・バランスへの配慮が企業・地域に浸透し、様々な就労環境のもとで、多様な働き方を選択できている。

◆戦略の主な展開先…子どもを生み育てたいまち

分野 16 教育環境の充実

- 脳科学理論に基づく教育を地域社会全体で共有・展開し、子ども達の学力・心・体を育むことで、グローバル化とスマート化が進む未来でも活躍できる人づくりが推進されている。
- 学校・家庭・地域など多様な主体が連携し、子ども・青少年の心豊かで健やかな成長を支えるとともに、地域社会における学びの機会の充実・質の向上、相互の負担軽減を図っている。
- 脳科学理論に基づき、16か年教育による切れ目ない教育支援体制が構築され、小中一貫教育の推進により連続性のある教育が展開されている。
- 発達障がいなど障がいがある子どもが、ともに学ぶことができる環境を地域社会で整備し、インクルーシブ教育システムが構築されている。
- 生涯学習を通じた学び・体験・自己研鑽の機会・環境の充実が図られるとともに、学習成果を地域社会に還元する仕組みが構築されている。
- 学校・家庭の連携や学校給食の展開などを通じ、食育を推進することで、基本的な生活リズムや望ましい食習慣の定着が図られている。
- 少子化の進行と施設整備計画を踏まえつつ、ICTの進展や災害時の使用などにも対応した、誰もが快適で安全・安心な教育環境が整っている。

◆戦略の主な展開先…子どもを生み育てたいまち、豊かな人材を育むまち



IV. 自然と調和した 質の高い都市空間が整う



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 17 地球環境・自然環境の保全

- 持続可能な地球環境の上に生活基盤が成り立っていることを、誰もが意識し、多様な生態系に配慮しながら、その恵みを次世代に引き継ぐための行動をとっている。
- 脱炭素や気候変動への目標を共有し、対策を講ずること、地球にやさしく、人と自然が共生するまちづくりを推進している。
- 環境教育を推進することで、エネルギー・資源の利用を最適にするための主体的な活動が広がり、環境負荷の少ない循環型社会を構築している。

◆戦略の主な展開先…挑戦し進化し続けるまち

分野 19 道路環境の充実

- 暮らしや経済の基盤となる道路整備の推進により、快適かつ強靱な道路ネットワークが形成され、移動・交流・社会参加を促す役割を果たしている。
- 高齢者や障がい者、子どもなどによる、徒歩や自転車での利用ニーズに対応し、自然環境の景観との調和にも配慮した、安全・安心な道路空間が整備されている。
- 道路施設の効率的な整備・長寿命化が図られ、公共的な空間として多様な主体による適正な維持管理が推進されている。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち

分野 21 情報通信ネットワークの充実

- 社会インフラとしての情報通信環境が充実し、誰もがあらゆる場面・分野でその技術の恩恵を享受し、場所・距離・時間に制約されない快適な暮らしが実現している。
- より高度な情報通信社会を生きる子どもたちのICT教育環境が整うとともに、情報通信技術に不慣れな方へのきめ細かな支援が展開されている。
- 情報化・デジタル化の浸透に伴い、その利活用に精通した人材が一般化することで、多様なコミュニケーション環境と新しい価値観が創出されている。

◆戦略の主な展開先…挑戦し進化し続けるまち

分野 23 公園・広場の整備

- 花と緑があふれる美しい景観を整備することで、子どもから大人まで、誰もがときめきとやすらぎを感じることができ、多文化が交流する場となっている。
- 住みよさと個性的な魅力を発信する公園・広場・緑地を、観光・防災などの多面的な視点から適正に配置するとともに、利用状況のデータに基づき、より効果的な空間利用が可能となっている。
- 公園・広場の花や草木の管理を通じて、官民協働のまちづくりが展開され、コミュニティの活性化と絆づくりが図られている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

分野 18 公共交通の充実

- 交通弱者の移動手段を確保するとともに、新技術やICTの活用で、暮らしの中で誰もが利用しやすい安全・安心な公共交通ネットワークが形成されている。
- 公共交通の連携強化と最適化を推進することで、各拠点へのアクセス性の向上を図るとともに、公共交通の持続可能性が向上している。
- 公共交通が、買い物や通院、通勤といった日常生活を支える基盤としてだけでなく、生きがいと交流の創出や環境負荷の低減を推進する役割を担っている。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち

分野 20 秩序ある都市計画の推進

- 市の中心部、シビックゾーン周辺及び集積エリアに都市機能を計画的に配置するとともに、周辺地域での無秩序な土地利用の防止により、地域の自然や風景が守られている。
- 市民ニーズに沿った都市機能の誘導により上質な市街地を形成し、市内全域からのアクセスを確保することで、誰もが快適な暮らしを享受することができている。
- 空き家・空き地などを含む土地・建物の効率的・循環的な活用が進み、新たな人の流れの受け皿としても有効に活用され、多様な暮らし・仕事・集いを創出している。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

分野 22 新拠点・エリア整備の推進

- 豊かな自然環境と充実した交通体系を活かし、継続的な発展をもたらす新たな成長拠点が適所に整備され、県内・国内をはじめ、世界の人・企業から選ばれる魅力ある地域となっている。
- コンパクトで持続可能な都市構造が構築され、住宅・医療・福祉・雇用などの拠点が高度な交通・情報ネットワークで密接に結ばれた生活圏が各エリアに形成されている。
- ゆとりあるライフスタイル、多様な働き方を実現でき、健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動、学びの深化にも対応可能な拠点・空間が創造されている。

◆戦略の主な展開先…希望あるまち、選ばれるまち、豊かな人材を育むまち、挑戦し進化し続けるまち

分野 24 住環境の充実

- 都市と自然に包まれた快適な住環境が整備され、誰もが安全・安心な居住空間で、多様なライフスタイルを実現することができている。
- 空き家を含む既存の住宅ストックの最適な活用と、ニーズに応じた新たな住宅及び住宅地の供給が図られ、地域の特性に応じた良好な住環境が形成されている。
- ライフステージにおける住まいの取得や住み替えの選択肢が充実し、その情報発信が強化されることで、定住・移住の推進が図られている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

V. 活力・賑わいあふれ 交流が広がる



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 25 雇用・労働環境の充実

- 企業集積エリアの整備と企業立地を促進し、雇用を創出するとともに、海外を含め市内外から安定した働き手が確保できている。
- 誰もが生きがい・働きがいを持って安全・安心に働ける環境づくりが推進され、将来を担う若い世代など働く世代の就業・起業をサポートする環境が整っている。
- ICT等の活用に対応した多様で柔軟な働き方を選択することが可能となり、個々に応じた働き方を見つける手段・支援体制が充実している。

◆戦略の主な展開先…希望あるまち、挑戦し進化し続けるまち

分野 27 農業・農村の振興

- 農業・農村が持つ多面的な機能と美しい景観を維持するため、次世代が継承しやすい仕組みを構築し、その資源が循環型社会の形成に有効活用されている。
- 農業経営の安定化はもとより、農畜産物の品質向上や特産品の開発に伴い、新たな魅力・ブランド力が生まれ、地産地消や販路拡大の取組により、異分野や都市部との連携・交流が活性化している。
- 先進技術などを駆使することで、農業の担い手の負担を軽減し、生産性を向上させるとともに、生産・販売の管理や有害鳥獣の被害対策が推進されている。

◆戦略の主な展開先…希望あるまち、挑戦し進化し続けるまち

分野 29 観光・交流の推進

- 地域資源の磨き上げによる観光拠点の整備と、健康・スポーツなど多様なニーズを組み合わせた観光コンテンツの開発を推進するとともに、交通手段と情報通信環境が整った快適な観光ネットワークが形成されている。
- 多彩なイベント等による「ことおこし」、オンリーワンの「ものづくり」、それらを支える「ひとおこし」が展開され、地域の活性化が図られている。
- SNS等のメディアを活用した戦略的な観光情報の発信により、まちの知名度向上を図るとともに、オンライン上でも観光資源に親しむことができる環境が創出されている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

分野 26 商工業の振興

- 経営者・団体の創意工夫を尊重し、経済活動を支える資源・制度の充実を図ることで、商工業事業者の経営力が向上し、将来にわたる持続可能性が高まっている。
- 地域密着型の買い物弱者支援など、多様なビジネスモデルが地域内で発案され、地域課題の解決が進んでいる。
- 既存店舗と新規出店者が互いに発展し、それらの生活圏に含まれる利用者のニーズに応じた商品・サービスがきめ細かく提供され、継続的に賑わいが創出されている。

◆戦略の主な展開先…希望あるまち

分野 28 地域産業の振興

- 成長が期待される次世代産業の参入・拡大を推進するとともに、環境配慮型の経済活動を支援することで、経済と環境の持続的な好循環が実現している。
- ものづくりの精神・誇りを基盤として、伝統技術・技法を次世代にも継承できる体制が確立され、個性豊かで選ばれる商品・ブランドを創造している。
- 新産業・新商品の開発により、地域産業の魅力を高め、ICTなどを駆使しながら、国内外向けの販路開拓と商圏拡大を推進している。

◆戦略の主な展開先…希望あるまち

分野 30 多文化共生・国際化の推進

- 地域において、異国の文化や多様な生活習慣などの相互理解が深まり、互いの違いを認め合い支え合う、外国人住民との共生社会が形成されている。
- 国際交流や外国語教育などの充実により、国際感覚が豊かな人材を育むとともに、その人材が活躍できる環境が整っている。
- 暮らしや働き の 場面に限らず、インバウンドなどでも外国人をサポートする体制が構築され、世界から選ばれる地域になっている。

◆戦略の主な展開先…子どもを生み育てたいまち、選ばれるまち、豊かな人材を育むまち



VI. 生きがいとゆとりを持てる



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 31 地域活動の活性化

- 地域のつながり・絆を深める活動の推進により、多世代が交流し、役割分担の適正化が図られることで、誰もが住み良いコミュニティが形成されている。
 - 地域の課題を住民自らが発見・解決する地域活動やビジネスモデルが構築され、地域の魅力向上と持続的な発展が図られている。
 - 各地域において、地域の未来を支える人材の育成や地域活動の効率化とデジタル化が進むことで、自立した地域経営が展開され、地域間の相互連携に加え、多様な主体との連携も深まっている。
- ◆戦略の主な展開先…つながりあるまち、豊かな人材を育むまち、挑戦し進化し続けるまち

分野 33 スポーツ・レクリエーションの振興

- 多世代交流の活性化や健康づくりの推進を図るため、人材面と施設面の双方が充実したスポーツ・レクリエーション活動が展開されている。
- 時間や空間に捉われず、適切な指導・助言のもと、誰もがスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができ、新しい形態のスポーツ・レクリエーション活動にも挑戦できている。
- スポーツ・レクリエーション活動への参加を通じて、達成感や喜びを共有し、お互いを称え合う環境を形成することで、仲間・コミュニティとの連携が深まっている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち、つながりあるまち、豊かな人材を育むまち

分野 35 市民活動の活性化

- 市民の参画と協働のまちづくりを更に深化させ、市民の主体性を尊重し、その活動を支援することで、自発的な市民活動が多分野において展開されている。
- 市民活動の拠点や交流の場が充実し、市民・企業・行政等が柔軟なパートナーシップを構築することで、多様なネットワークが形成されている。
- 市民活動に携わる人材・団体の育成・連携が推進され、より豊かな市民生活に向け、社会課題の解決を目指した活動が展開されている。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち、豊かな人材を育むまち

分野 32 文化財の保護・活用

- 誰もが文化財に親しみをもち、価値の理解を深められるよう、文化財を通じた交流の場の創出とICTを活用した文化財の魅力発信を推進している。
- 地域の誇り・愛着を生む地域固有の文化財を後世に継承するため、人材面や施設面を強化し、災害に強く持続可能な保存体制を構築している。
- 教育や観光などの幅広い分野において、文化財を有効活用した個性的なまちづくりを展開している。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

分野 34 芸術・文化の振興

- 地域によって育まれた文化・芸術を後世に引き継ぐため、それらを支える人材・団体の育成と関係施設の機能強化が図られている。
- 住民の参画と協働による文化・芸術活動を推進し、多様なメディアの活用により広く発信することで、新たな交流が生まれている。
- 質の高い芸術・文化を誰もが体験できる機会・環境を創出するとともに、住民・団体が主体となり、芸術・文化活動の活性化と新たな展開を推進している。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち



VII. 持続可能な自治体を経営する



あるべき姿 ～ONO VISION 2030～

分野 36 健全な財政運営の推進

- 将来の世代でも安定的な財政運営が図られるよう、積極的な財源確保、効率的な財源の配分、事業の選択と集中が推進され、健全財政を堅持している。
- 公平・適正に市税を確保し、国・県などの支援や企業等の寄附による支援を積極的に獲得することで、これらの財源を活用した多様な事業を展開している。
- 中長期の財政見通しや財務データに基づき、各種事業の受益と負担の適正化や社会資本の戦略的なマネジメントが図られている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち、つながりあるまち

分野 38 情報発信・共有化の推進

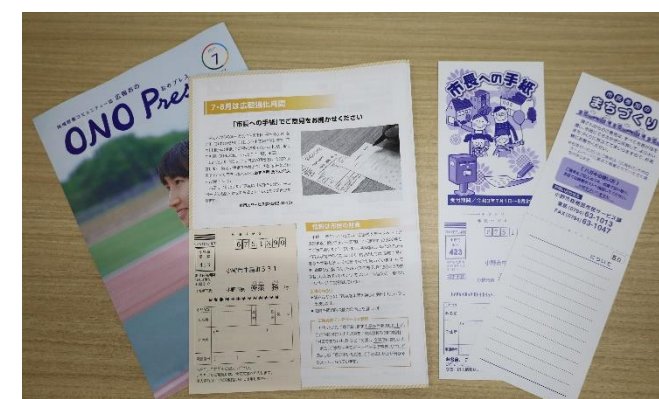
- 貴重な財産である市民の声を多様な広聴システムで広く受け付け、それらをデータベース化するとともに、市政への反映や市職員の能力向上に役立てている。
- 広報誌やホームページ、SNS等での更なる情報発信の充実に加え、先端技術の活用により、市民が必要な情報をタイムリーに取得できる環境づくりが進んでいる。
- 誰もがわかりやすい情報が適正に提供・公開されるとともに、多様なメディアを通じて市の取組が国内外に発信されている。

◆戦略の主な展開先…選ばれるまち

分野 37 行政運営の効率化

- OPDCAのマネジメントサイクルに基づく行政経営を展開し、不断の業務プロセスの見直しによるコストの削減とサービスの高度化・高品質化を推進している。
- 人口減少が進展する中においても、行政資源を最大限に活用するため、施設と機能の最適化・集約化・効率化が図られ、まちの持続可能性が高まっている。
- 国・県・周辺市町等との役割分担の適正化とスケールメリットを生かした広域連携に取り組み、より効率的な広域行政が展開されている。
- ICTを柔軟に取り入れた組織・仕組みを構築し、多様な人材を確保・育成・評価できる体制を整備することで、市民の満足度の向上が図られている。

◆戦略の主な展開先…つながりあるまち、挑戦し進化し続けるまち



〔令和2年度決算〕

☑ 財政の健全性

国が定める財政指標は全てクリアしています。

実質公債費比率

4.6%



将来負担比率

5.7%



将来の都市構造

小野市は、兵庫県東播磨地域のほぼ中央に位置し、市域の東には子午線が通り、西部には県下最大の流域をもつ一級河川加古川が北から南へ流下しています。

交通体系は、小野市を挟んで南に山陽自動車道、北に中国自動車道が走っており、これらの道路を利用することで、大阪まで約1時間で移動することが可能となっています。また、市西部を走るJR加古川線と、市南部を走る神戸電鉄粟生線などの鉄道網が形成されています。

また、東播磨と北播磨地域を結ぶ地域高規格道路である「東播磨南北道路」が完成し、山陽自動車道三木SAでのスマートインターチェンジも完成すれば、小野工業団地等の利便性が一段と向上し、小野市の更なる潜在能力の開花が期待されます。

これらの情勢を踏まえつつ、これまでの都市構造の基本としてきた、6つの日常生活圏(小野地区、河合地区、来住地区、市場地区、大部地区、下東条地区の6地区)に身近な生活拠点を適切に配置し、住民自らが考え実践する地域づくり活動を推進する方針を継承します。

この方針の下、人口減少が進行する中においても、地域資源と地域特性を活かし、各地区での「自立と創造」を促進するとともに、各地区の連携・補完によるネットワークやつながりを強化することで、多極多層型のコンパクトで成熟した都市空間の構築を目指します。あわせて、すでに都市機能の集積による拠点化が進んでいる3つのエリア、「シビックゾーン」、「浄谷黒川丘陵地」、「市場地域開発区域」において、その周辺を含め機能強化を推進します。



各地区の将来イメージ

☆**小野地区**(主な施設…小野小学校、小野東小学校、小野中学校、うるおい交流館エクラ など)

・先進的な都市空間と教育・文化・歴史・伝統・スポーツなどが融合した魅力創造モデル地区

☆**河合地区**(主な施設…河合小学校、河合中学校、特別支援学校、堀井城跡ふれあい公園 など)

・自然と多文化の融合でやすらぎとおいが満ち、交通機能などで賑わいが生まれる広域交流モデル地区

☆**来住地区**(主な施設…来住小学校、白雲谷温泉ゆぴか、小野アルプス など)

・豊かな自然と多彩な美・癒しを備え、交通機能などで観光・交流創造空間が融合した地域振興モデル地区

☆**市場地区**(主な施設…市場小学校、小野南中学校、北播磨総合医療センター など)

・医療・健康・福祉・産業拠点などの複合機能が集積し、交通ネットワークで結ばれた未来の暮らし牽引モデル地区

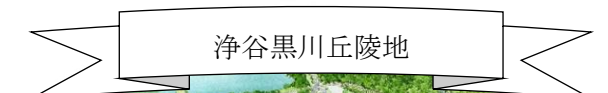
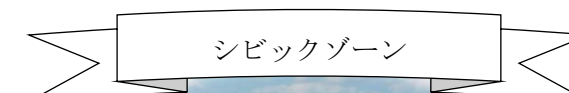
☆**大部地区**(主な施設…大部小学校、旭丘中学校、広渡廃寺跡歴史公園、おの桜つつみ回廊 など)

・由緒ある歴史を有し、快適な都市機能と美しい田園景観が調和した快適環境モデル地区

☆**下東条地区**(主な施設…中番小学校、下東条小学校、菅田の館、こだまの森公園 など)

・やすらぎとゆとりを育む豊かな自然環境に包まれ、地域交流が広がる活力創造モデル地区

拠点構想推進エリア



行動指針

行動指針は、小野市が時代や社会の変化に対応していく今後の行動過程において遵守すべき基本的な心構えを定めます。

小野市は、本計画に掲げた基本理念や将来像の実現を目指していく上での規範について、市民と行政の視点から次のとおり「行動指針」を掲げます。

1. 市民の「行動指針」=小野市民憲章

時代や社会の変化に伴い、市民の価値観が複雑・多様化しています。市民一人ひとりが「小野市民憲章」の精神に立ち返り、自らの意識や考え方を見つめ直すとともに、未来へ向けて主体的・積極的に行動します。

小野市民憲章

(昭和44年12月1日制定)

わたしたちの小野市は、川と緑の美しい自然と伝統ある文化のまちです。そろばん・金物の特産のうえに、恵まれた環境は播磨内陸開発の中心地として、将来の躍進が期待されます。

自然と歴史と産業の調和した近代都市の市民として、生きがいのある暮らしができることをこい願ひ、誇りと自覚を持ってこの憲章を守りましょう。

- 1 誠実で意欲的な人になりましょう。
 - 仕事に打ち込み働く喜びをもとう。
 - 明朗で親切な人になろう。
 - 運動に親しみ健康に努めよう。
 - 教養を高め豊かな心をもとう。
 - きまりを守り責任を重んじよう。
- 1 良き市民の育つ家庭をつくりましょう。
 - 愛情と秩序のある家庭をつくろう。
 - 話し合えるなごやかな家庭をつくろう。
 - 老人の生きがいある家庭をつくろう。
 - 子どもを正しくしつけよう。
 - となり近所は譲りあい助け合おう。
- 1 活気ある健康なまちを築きましょう。
 - 連帯感を高め、前進するまちをつくろう。
 - 人権を尊重して住みよいまちをつくろう。
 - 青年は清新なまちづくりの力になろう。
 - 清潔で公害のないまちをつくろう。
 - 郷土を愛し自然と文化を守ろう。

2. 行政の「行動指針」

行政はこれまでの取組の結果とプロセス、社会における市の現状と課題等を踏まえ、住み続けたい、暮らしてみたいまちの創造に向けて行動します。

① 「い・ろ・は」

- 「い」：意識改革なくして行動なし
- 「ろ」：論ずるより行動
- 「は」：反省なくして改善なし

② 市民第一主義

常に「市役所は市民の役に立つ所」という原点に立ち返り、市民の声を貴重な財産として積極的に市政へ反映させる市民第一を推進します。

◇ 市民主体のまちづくり

市民の参画・協働を求める行政主導のまちづくりから、市民の考えを尊重し、その活動を支援していく市民主体のまちづくりへの進化を図ります。

◇ 透明性の確保

情報の開示・共有化による市民との相互信頼・相互責任の関係を構築するため、幅広い情報を理解できる形で積極的に発信するとともに、市民に対する説明責任を果たします。

③ 経営的な政策展開

過去の経験を教訓として、現状を分析し、改善を講じた新たな計画を実行する「PDCA」のマネジメントサイクルを展開します。

◇ゼロベースとポジティブシンキング

現状に満足することなく常にゼロベースの発想で取り組むとともに、物事をポジティブ（前向き）に捉えて行動します。

◇ スピーディ・フレキシブルな対応

社会経済情勢の変化に対して正確かつタイムリーな情報を把握し、現場・現物を重視したスピーディ・フレキシブルな対応を図ります。

◇ セイフティ・スペシャリティな対応

市民生活の安全・安心に対する全職員の意識改革を図るとともに、行政のプロフェッショナルを目指した人材育成を目指します。

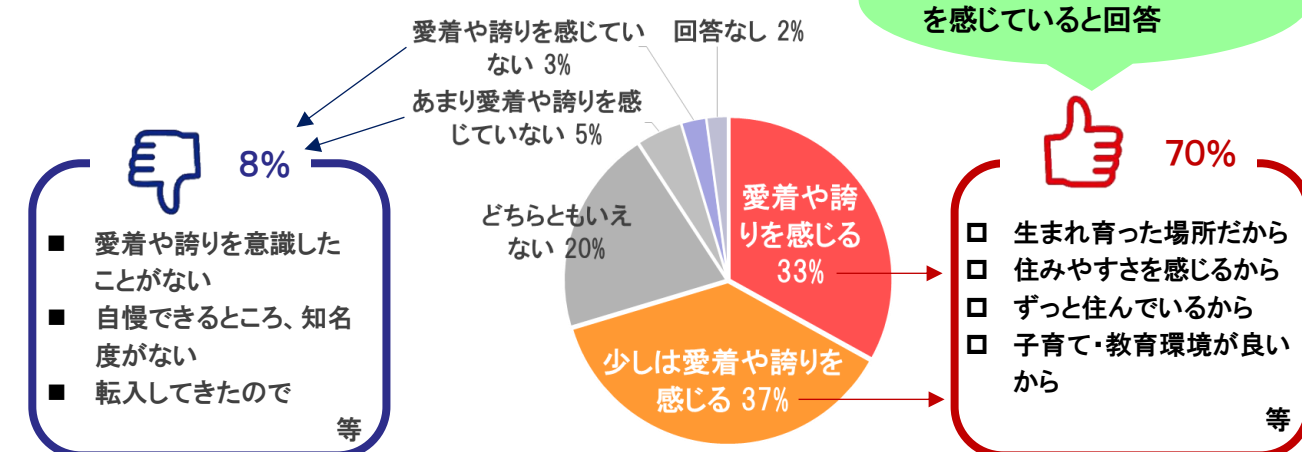
◇ 限りある財源の有効活用

自主財源の確保、財源の重点配分、行財政改革の推進などにより、先進的で健全な財政運営に努め、持続可能な安定した行政サービスを提供します。

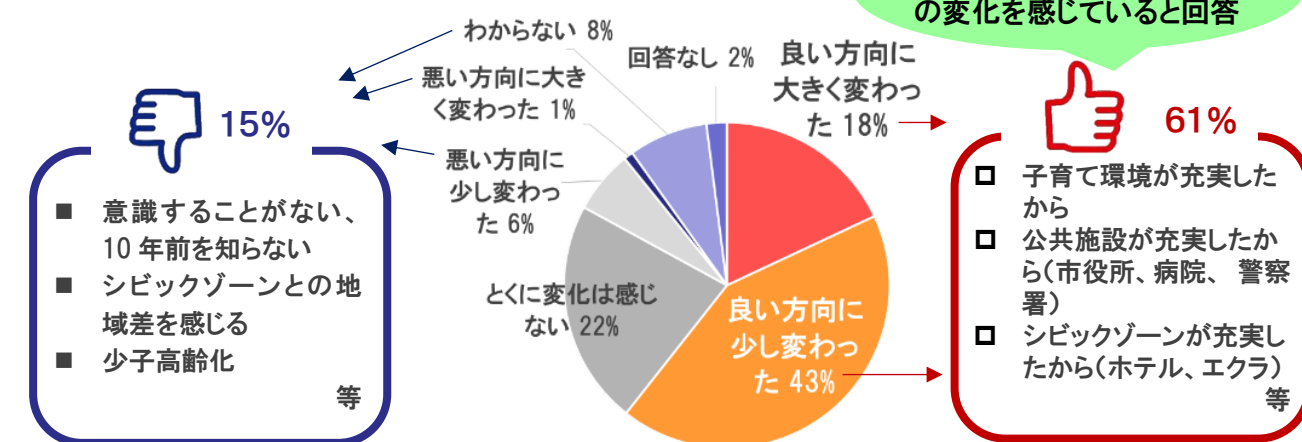
小野市のまちづくりに対する市民意識

総合ビジョンの策定にあたり、これまでの市のまちづくりに対する市民の捉え方を把握するため、2019年11月に市民5,500人を対象としたアンケート調査を実施し、次の結果となりました。（回答者数…1,730人）

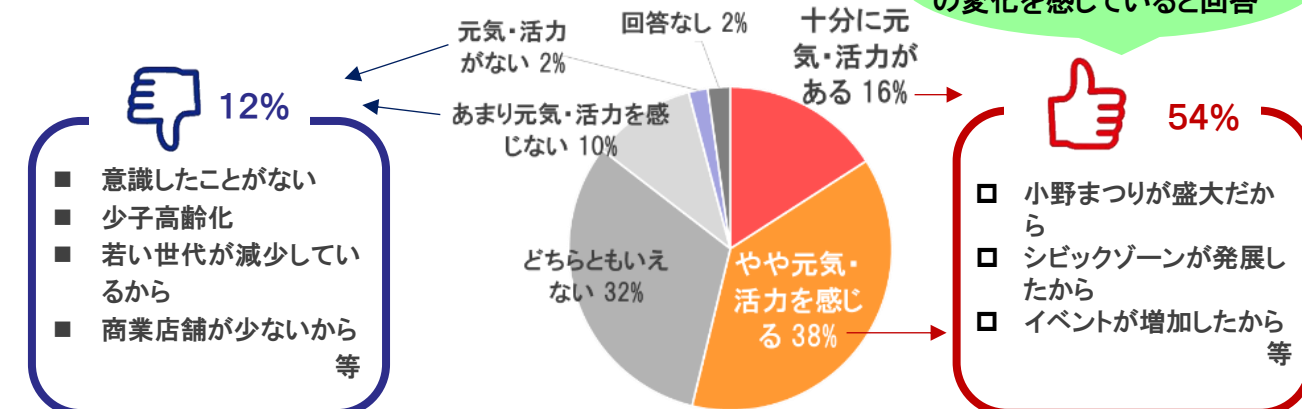
○小野市に対する「愛着や誇り」について



○小野市の「10年間における変化」について

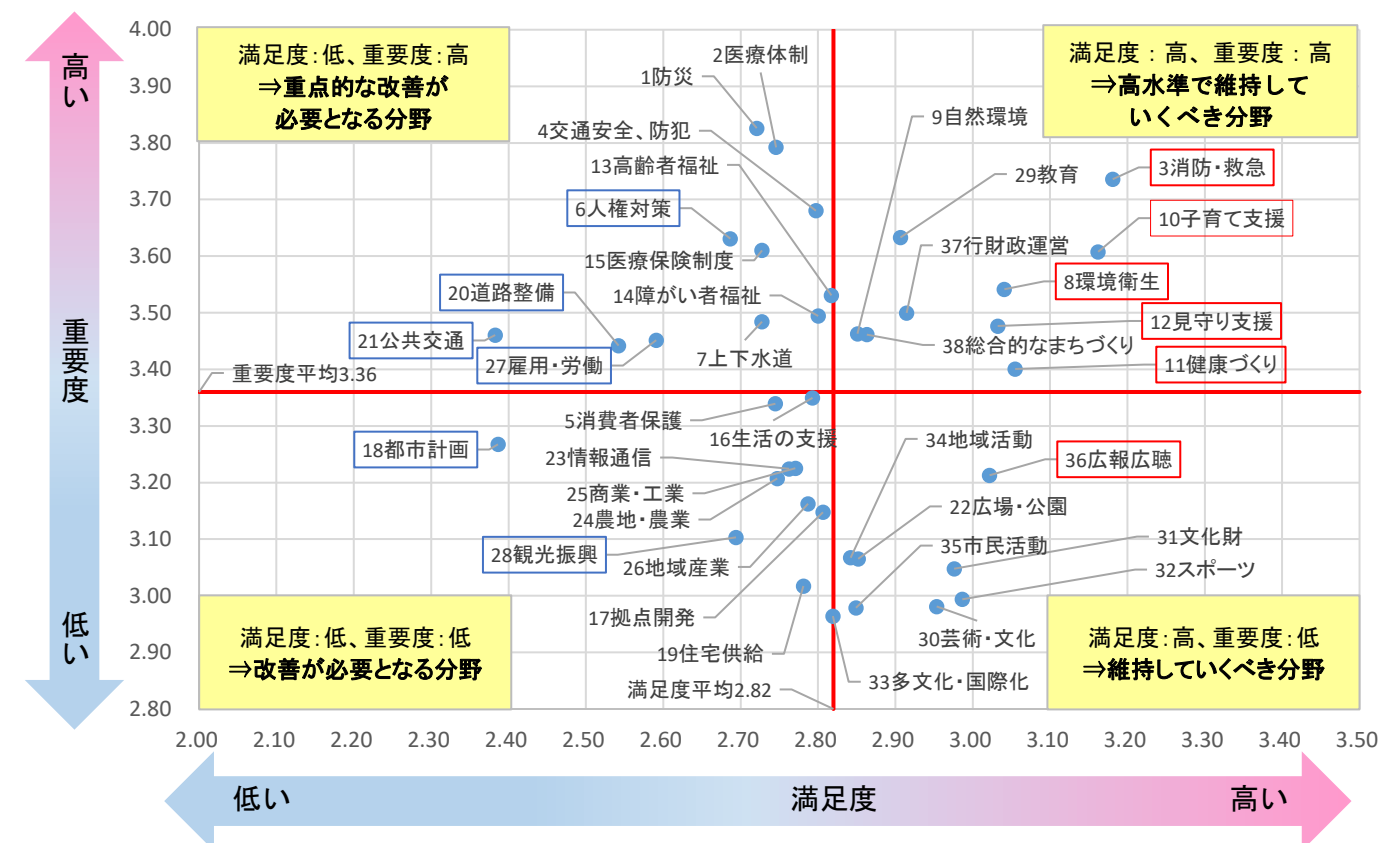


○小野市の「元気・活力」について



○市のまちづくりに対する取組(38項目に分類)についての「満足度」と「重要度」

取組に対する「満足度」と「重要度」について、それぞれの4段階評価を集計し、得点化した図は次のとおりとなりました。（満足度の上位5つを赤枠、下位5つを青枠で囲っています。）



満足度：低・重要度：高	満足度：高・重要度：高
①地震や豪雨などの災害に対する防災体制 ②地域の実情に合った病院などの医療体制 ④交通安全の対策、防犯の対策 ⑥いじめなどへの対策、人権の尊重 ⑦上下水道の運営体制 ⑬高齢者を支援するサービスなどの環境 ⑭障がい者を支援するサービスなどの環境 ⑮医療保険制度の運営体制（保険料など） ⑳歩道を含む道路の整備 ㉑公共交通（バス、鉄道など）の運行体制 ㉒雇用・労働環境の整備支援	③消防・救急の体制 ⑧環境衛生の向上（ごみ処理、汚染対策など） ⑨地球環境・自然環境の保護 ⑩子育てを支援するサービスなどの環境 ⑪健康づくりへの支援体制 ⑫地域での見守り・支援体制 ㉑小・中学校などの教育環境 ㉒健全で効率的な行財政運営 ㉓行政による総合的なまちづくり
満足度：低・重要度：低	満足度：高・重要度：低
⑤消費者保護の対策 ⑩生活支援が必要な方への支援体制 ⑪新拠点となる施設や開発エリアの整備 ⑬空き家などに対応した秩序ある都市計画 ⑮住宅地の整備、市営住宅の供給 ㉑情報通信ネットワークの整備支援体制 ㉒農地整備や特産品開発を含む農業の支援 ㉓商業・工業の振興支援 ㉔伝統産業を含む地域産業の振興支援 ㉕観光資源の整備など観光の振興支援	㉒広場・公園の整備 ㉓芸術・文化活動の振興 ㉔文化財の保護と活用 ㉕スポーツ・レクリエーション活動の振興 ㉖多文化共生・国際化への支援 ㉗多様な主体による地域活動の活性化 ㉘市民活動の活性化、参加機会の充実 ㉙広報広聴、情報発信

(白 紙)

(第2期小野市総合戦略(案)へ続く)